

令和新時代とっとり環境イニシアティブプランの改訂骨子案に係るパブリックコメントの実施結果について

令和4年3月22日
環境立県推進課
脱炭素社会推進課

国による2030年度温室効果ガス削減目標の引き上げ、エネルギー基本計画・地球温暖化対策計画の改定など、政府方針の変化を踏まえ、本県においても「鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づく県の環境基本計画である「令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン」を改訂するに当たり、広く県民の意見を求めるためパブリックコメントを実施したので、その結果を報告する。

1 実施結果

(1)実施期間: 令和4年2月25日(金)から3月11日(金)まで(15日間)

(2)意見総数: 18件(個人11人)

(3)主な意見と対応方針

<対応の区分> 盛込済(◎)、反映(O)、その他(—)

項目	件数	主な意見	対応方針(案)	対応
削減目標関連	4	・良い計画である	—	—
農林水産業関連	6	・森林吸収源対策を分かりやすく記述してほしい	別途策定している「とっとり森林・林業振興ビジョン」に基づき実施している事業などの具体例を追記するなどして分かりやすく記載する。	O
		・海洋生物による炭素吸収の促進を検討すべき	海藻等による炭素吸収の促進について追記する。	O
脱炭素エネルギー関連	4	・県の再エネ導入施策を記述してほしい	家庭や事業所における太陽光発電をはじめ、地域と地元企業等が連携して行う小水力発電やバイオマス発電など、自然や地域と調和した再エネ導入に取り組むこととしている。	◎
その他	4	・専門用語について分かりやすく記述してほしい	注釈を加えるなどしてより分かりやすく記載する。	O
	18			

2 令和新時代とっとり環境イニシアティブプランの改訂の概要

(1) 国内外の脱炭素を取り巻く社会の変化を反映

国内外の脱炭素を取り巻く社会の変化(気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)の開催、日本政府の2030年度温室効果ガス削減目標(2013年度比)の引き上げ(▲26%→▲46%)及びそれに伴う「地球温暖化対策計画」「エネルギー基本計画」の改定等)を踏まえて、総論などについて時点修正する。

(2) 2030年度温室効果ガス削減目標(2013年度比)の引き上げ(▲40%→▲60%)及びそれを達成するための施策の追記

- ▶ 従来の施策に加えて、今ある技術を総動員し、「鳥取スタイル PPA^(※)を活用した太陽光発電の設置促進」「とっとり健康省エネ住宅の普及促進」「電動車をはじめとした燃費の良い自動車の普及促進」などに重点的に取り組むなどして、上乗せ削減目標を積み上げた結果、▲60%を実現可能な目標として設定する。

(※)鳥取スタイル PPA: 電力消費者の初期費用が不要となる自家消費型の屋根貸し太陽光発電を促進するため、県内の地域新電力や関連企業が連携して実施する新たな施策

- ▶ 今回重点的に取り組もうとする施策については、地球環境と健康を守りながら、快適に賢く住まうライフスタイルへの転換を図る「とっとりエコライフ構想」として取りまとめ、県民に分かりやすく普及啓発を図る。

3 今後の予定

令和4年3月23日(水) 鳥取県環境審議会による審議

令和4年3月末 令和新時代とっとり環境イニシアティブプランの改訂及び公表